

八代北部地域医療センター が担う役割について

令和5年11月 八代北部地域医療センター

1 現状と課題

一般社団法人 八代郡医師会
八代北部地域医療センター



全病床 105床

【一般病棟 75床】

一般病床 : 46床

地域包括ケア病床 : 29床

【療養病棟 30床】

- 休日・夜間救急外来対応
- 病院群輪番制病院
- 在宅医療支援病院
- 在宅医療サポートセンター
- 病児病後児保育所

1 現状と課題

【自施設の現状と課題】

- 届け出入院基本料： ※コロナ病床稼働時期の状況も含んだ計算
 - 一般病棟 {
 - 一般病床46床：平均在院日数：20日、看護必要度：22.3%
病床利用率：93.0%(コロナ病床含む)
 - 地域包括ケア病床29床：在宅入院：69件(内緊急入院50件) /年
在宅復帰率：87.4% 病床利用率：93.7%
 - 医療型療養病床30床：在宅復帰率：70.7%、医療区分2,3：81.4%
平均在院日数：85日
- リハビリテーション：
 - 脳血管疾患等リハビリテーション(Ⅰ)、運動器リハビリテーション(Ⅰ)
 - 呼吸器リハビリテーション(Ⅰ)、がん患者リハビリテーション
- チーム医療：
 - 院内感染対策、医療安全、褥瘡対策
 - 緩和ケア、認知症ケア、排尿ケア、栄養サポート
 - ※緩和ケア認定Ns、認知症看護認定Ns、特定行為Ns (在宅・慢性期)

1 現状と課題

【自施設の現状と課題】 5 疾病 5 事業に関して

- がん** : 健診・外来検査(消化器、呼吸器、前立腺など)
がん患者リハビリテーション、緩和ケア認定看護師(入院・外来・在宅)
- 精神疾患** : 認知症ケアチーム、リエゾン非常勤医師
- 脳卒中** : 回復期リハビリ、脳血管疾患等リハビリテーション(I)
維持期後遺症治療
- 急性心筋梗塞** : 循環器専門医 初期対応、治療後リハビリ
- 糖尿病** : 専門外来(非常勤)
- 救急医療** : 輪番制病院、24時間・365日の夜間・休日外来、入院受け入れ
時間外外来数 : 308名/月 時間外入院数 : 6名/月
- 災害医療** : 災害ナース、ロジスティック、災害医療コーディネーター(医師)、J-MAT
- 僻地医療** : 僻地診療所管理者・医師派遣、へき地巡回診療支援、遠隔診療支援
- 周産期医療** : 新生児外科疾患
- 小児医療** : 小児科外来、小児外科外来、夜間・休日外来対応

1 現状と課題

【自施設の現状と課題】

- **新興感染症対応**：COVID-19対応について
 - 2020年3月 帰国者接触者外来開設
 - 2020年10月 感染症PCR検査棟整備
(以後SARS-CoV-2遺伝子検査13,389件)
 - 2022年2月 新型コロナ病床 増床 8床
 - 2022年7月 新型コロナ病床 増床 16床
- **在宅医療**：在宅療養支援病院
 - 訪問診療 (年間172件) 緊急往診 (年間56件)
 - 在宅看取り (年間13件)
 - 八代地域在宅医療北部サポートセンター事業

課題

八代北部地域の小児科、婦人科診療所は閉院し診療科の偏在化
地域の医師の高齢化により診療科・地域での医師偏在化の問題

2 今後の方針

【地域において今後担うべき役割】

- 外来機能** : 地域に不足する診療科について体制を整える
- 急性期医療** : 八代北部地域及び隣接地域の一般急性期医療対応について、機能を強化する。
- 回復期医療** : 一般病床・地域包括ケア病床、療養病床での回復期リハビリ（理学療法、作業療法、言語療法、嚥下訓練）のさらなる充実
- 慢性期機能** : 重症度の高い患者のケア、レスパイト入院
在宅復帰に向けたリハビリと退院支援
- 在宅医療** : 在宅医療支援病院としての役割（訪問診療・後方支援病床等）
在宅医療サポートセンター活動の充実
- 僻地医療** : 僻地診療所の管理・診療支援、巡回診療、遠隔診療支援
- 新興感染症対応** : PCR検査の早期開始、外来診療、体制整備後入院受け入れ
- 子育て支援** : 病児・病後児保育所の地域への周知

3 具体的な計画

(1) 今後提供する医療機能に関する事項

【① 4 機能ごとの病床のあり方 その1】

単位：床

病床機能	2022年(令和4年)	2025年(令和7年)	備考
高度急性期			
急性期			
回復期	75床	59床	2022年はコロナ病床を含む
慢性期	30床	30床	
その他			
合計	105床	89床	

3 具体的な計画

(1) 今後提供する医療機能に関する事項

【②診療科の見直し】

	現時点 (2023年10月時点)	2025年	理由・方策
維持	呼吸器科、循環器科、 神経内科、外科、小児 外科、肛門科、リハビ リ科、整形外科、小児 科、内科、消化器科	呼吸器科、循環器科、 神経内科、外科、小児 外科、肛門科、リハビ リ科、整形外科、小児 科、内科、消化器科	身近な医療を提供する 体制を維持する
新設		未定	医師偏在により地域に 不足する診療科につい て今後検討
廃止			
変更・統合			

3 具体的な計画 (2) 数値目標

	現時点(2023年9月時点)	2025年
①病床稼働率	98%	98%
②紹介率	8.8%	35%
③逆紹介率	なし	

3 具体的な計画

(3) 数値目標の達成に向けた取組みと課題

【取組みと課題】

取組み

- 一般急性期受け入れ機能を強化します。
- 回復期リハビリ、退院支援体制を強化します。
- 検査体制を充実させ共同利用を進めます。
- 職員のスキルアップ支援や子育て支援、ワークライフバランス制度など、職員が働きやすい環境作りに取り組みます。

課題

- 医療必要度が高い事例が増えており受け入れる施設が不足。
- 老々介護や独居高齢者など、退院困難事例が多くなっている。
- 診療スペースが手狭になっている。

4 その他特記事項

【へき地医療拠点病院について】

へき地医療拠点病院を目指して申請いたします。

